

日本工業大学

宮代会会報 第六号

平成十四年十二月発行

臨時総会開催

晩秋の福島にて

去る十一月二十三日、晩秋の福島県磐梯熱海温泉「四季彩一力」にて、佐藤会長以下総勢二十二名の参加を得て宮代会の臨時総会が開催されました。当日は、後援会より佐藤登美雄会長に鹿兒島から遠路ご参加いただきました。また地元福島からは、茂木利夫さんを始めとした宮代会会員の皆様と現後援会支部長が出席され、忘年会を兼ねた和やかな懇親会が行われました。

大学からは、神馬学長、安部財務部参与、藤田財務部長、倉島経理課長、飯島総務課員が出席し、神馬学長夫人にもご参加いただき、楽しい一時を伴い過ぎました。

大内宿・塔のへつりを訪ねて

翌日は、晩秋の会津路を観光しました。下郷町にある史跡宿場「大内宿」を訪ね、風情のある茅葺き民家の佇まい、清流のせせらぎに心癒され、長葱を箸の代わりにして食べる名物の蕎麦「ねぎ一本」でお腹を満たしました。その後、百万年の歳月をかけてできた奇岩怪石の景勝地「塔のへつり」を見学し、帰途に就きました。

▶「へつり」とは「絶壁」の方言

◀ 江戸時代ヘタイプスリッパ

一期一会（ご奇贈品の紹介）

十月五日（土）に宮代会幹事会が開催されました。その席で幹事の菅野恭次さん（茨城県・平成八年度卒）から、白樺の木に「一期一会」と自ら彫られた

立派な置物をご寄贈いただき

ましたのでご紹介いたします。

「二期一会」とは、元来仏教用語
であります。千利休の弟子・

宗二の「山上宗二記」にある言
葉としても知られ、ご存知の通

り「生涯にただ一度まみえるこ
と」の意味があります。後援会

活動を伴に頑張ってきた宮代
会会員の皆様との出会いを大

切にしたいと考えておられる
菅野さんの熱い想いが伝わっ

てまいります。
この作品を多くの皆様にご

覧頂きたく、学友会館の喫茶室
に展示させていただいており

ます。大学にお越しの節は是非
とも、学友会館にお立ちより下

さり、ご覧頂きたいと存じます。

◀ 学友会館に飾られた作品



新春懇親会のお知らせ

来る平成十五年一月十二日

(日)午後三時半から「東京ド

ームホテル」で後援会・工友会

と合同で新春懇親会を開催し

ます。同封のはがきにて出欠を

十二月二十一日までにお知ら

せ下さい。

平成十四年度 宮代会

会費納入のお願い

宮代会会費納入にご協力を

願いたします。

○年会費 老万円(内七千円は
百周年事業積立金)

○納入方法

郵便局より振込、又は現金書
留による郵送。

○振込先

口座番号 00120-6-114124

加入者名 日本工業大学宮代会

○現金書留郵送先

〒345-8501

埼玉県南埼玉郡宮代町

学園台四―一

日本工業大学内宮代会事務局

○お問い合わせ先

○四八〇(三三)七五〇四

※同封の振込用紙により十二

月末日までにお振り込みく

ださいますようお願い申し
上げます。

本会は、「宮代会会報」第五号

の佐藤会長の挨拶にありまし
た明るく楽しく元氣よくを

合言葉に会の活動を続けて参

りたいと考えております。奮っ
てのご参加をお待ちしており

ます。(宮代会事務局より)

※今回お届けの会報とともに以下の資料を同封
させていただきました。

- 新春懇親会のご案内及び返信はがき
- 宮代会会費振込用紙(未納者の方のみ)
- 後援会会報 第61号